

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

### 事業名 スポーツ施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ施設係

電話番号：058-272-1111（内 2927）

E-mail：[c11172@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11172@pref.gifu.lg.jp)

**1 事業費 1,348,583千円（前年度予算額：762,743千円）**

#### <財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	762,743	0	0	0	0	0	0	646,000 116,743
要求額	1,348,583	0	0	0	0	0	0	1,348,583
決定額								

#### 2 要求内容

##### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

県有スポーツ施設は県内スポーツの先導的な役割を果たす中核施設であるが、老朽化が進行しており、また、競技施設基準の改正、バリアフリーやユニバーサルデザインに対応した改修が必要となっている。

大規模大会が開催できる高水準の施設を維持することに加え、年齢や障がいの有無、性別や国籍にかかわらず安全・安心にスポーツ施設を利用できるよう、長期的な目線で効果的な維持管理を行う。

##### (2) 事業内容

###### 【工事】

岐阜メモリアルセンター	陸上競技場インフィールド改修工事 等
御嶽濁河高地トレーニングセンター	外壁等改修工事 等
岐阜アリーナ	建物外周改修工事 等
長良川スポーツプラザ	非常用発電機改修工事 等

グリーンスタジアム	井戸ポンプ改修工事 等
クリスタルパーク恵那スケート場	冷凍機用発電機改修工事 等
川辺漕艇場	照明設備改修工事 等

【委託】

岐阜メモリアルセンター	舞台装置等改修設計業務 等
御嶽濁河高地トレーニングセンター	配膳カウンター改修設計業務 等
岐阜アリーナ	空調設備改修設計業務 等
長良川スポーツプラザ	空調設備改修設計業務 等

【備品】

岐阜メモリアルセンター	公認検定用陸上競技用品 等
御嶽濁河高地トレーニングセンター	常圧低酸素室
長良川スポーツプラザ	二段式ガス乾燥機
川辺漕艇場	船外機

(3) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	1,228,181	各県有スポーツ施設の改修工事
委託料	65,467	各県有スポーツ施設の設計委託等
事務費等	16,342	工事事務費等
備品購入費	34,231	各県有スポーツ施設の備品購入
需用費	4,362	各県有スポーツ施設の消耗品購入
合計	1,348,583	

決定額の考え方

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

主要施設である岐阜メモリアルセンターは建築後32年が経過し、また、最も古い岐阜アリーナは56年が経過するなど、各施設の老朽化が進行している。

そのため、長期的な目線で安全・安心なスポーツ施設の利用のため効果的な修繕や更新を行っていく。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	達成率

### ○指標を設定することができない場合の理由

施設の修繕にかかる計画策定のため指標を設定することができない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・各設備の改修や更新により安全・安心なスポーツ施設を維持することができた。 岐阜メモリアルセンター：補助競技場照明設備改修工事 等 長良川球技場：照明設備改修工事 等 スポーツ科学センター：除湿機設置工事 等 長良川スポーツプラザ：避難誘導設備更新工事 等 岐阜アリーナ：防火シャッター改修工事 等 岐阜県グリーンスタジアム：附属棟建設工事 等 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場：計時機器更新工事 等 川辺漕艇場：飛散防止フィルム貼工事
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加  指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加  指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	各県有スポーツ施設は老朽化が進行しており、安全・安心な施設の維持のためには修繕が必要である。
-----------	--

- ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）

3：期待以上の成果あり  
2：期待どおりの成果あり  
1：期待どおりの成果が得られていない  
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	老朽化の進行が著しいが、特に必要を求められるものから、優先的に対応している。
-----------	--

- ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	計画的な事業の実施により、効率化を図っている。
-----------	-------------------------

### (今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

施設の種類が膨大かつ多種（野球場などの運動施設、遊具など公園施設、建築物外壁、消防設備等）に渡るため、改修時期の判断等の見極めが難しい。

### (次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

今後も継続して施設の改修・更新を行い、適切な維持管理を行う。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	